



資料3-3



2016.6.16
学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭

教育コンテンツ・サービスの創造企業へ



21世紀型スキル
アダプティブラーニング
STEAM教育
プログラミング教育
グローバルリーダー育成

教室・塾



学研教室
1万5000教室 42万会員
グループ塾
720校舎 8万会員

家庭



小中学参シエアNo.1
(シエア32%・
670万部/年)
児童書シエアNo.1
(シエア11%・
570万部/年)

園・学校



幼保園市場シエアNo.1(絵本、備品、園舎設計、
教師講習会、幼児教室、ICT教材など)
小中保健体育教科書シエアNo.1
全国体カテスト(小5・中2 220万人)受託





学校領域での取り組み

学研の小中学校向けICTコンテンツ&システム

①ニューコース学習システム

学校の授業
復習
自習や予習
の教

教科
学習

②ニューワイド教材ライブラリ

調べ学習
調べ
生徒が

調べ
学習

③学研オンライン英会話

マンツーマン
合
の児童に

英会話

④多層指導モデルデジタル版M I M

通常の学級
特
の子どもに対し、
はアプリ

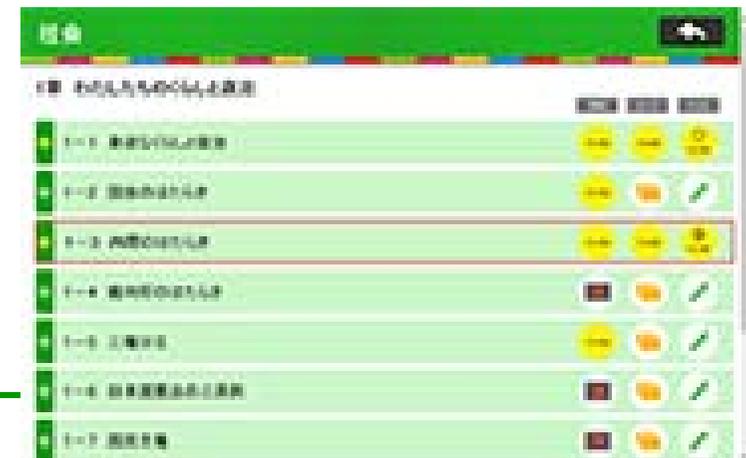
特別
支援

【事例】「一人1台タブレット」 東京都S区

「授業での調べ学習や協働学習での活用」と「家庭学習の習慣付け」を目的とした取り組みの一環で「一人1台」のタブレットを児童に貸与。児童がタブレット端末を自宅に持ち帰り、ドリルの宿題を行うことで「**家庭学習の強化**」が期待されています。

◆ 5年生担任先生のお話

- ① ICTが整備される前の授業にはもう戻れない！
- ② 週2回は、トータル学習システムでタブレット端末の宿題を出題！
- ③ 宿題をやってきたかどうかは、教員用タブレット端末からいつでも確認！





④グループ別に、それぞれの習熟度に合わせた教材や宿題を出すのも可能。



⑤先生が出題した宿題を、子供たちはタブレット端末で受信。出題はわずか1～2分で完了。



⑥タブレット端末の宿題に前向きに取り組む子供たち。採点が不要なのがシステムの良さ



【事例】「協働学習」 石川県某市



小学校 国語科 3年 本を使って調べよう

「里山は未来の風景」をきっかけに、「里山」について知り、「なるほど、ザ里山学習会」を開く計画を立て、「里山」について調べるために、ニューワイド百科事典を活用されています。



デジタル百科事典の使い方を聞き、知りたい言葉について調べているところ

【事例】「オンライン英会話」 福岡県某市



2015年10月に小学校5・6年生を対象に、外国語活動の時間に月2回のトライアルレッスンの導入を実施しました。授業を見学した教育関係者から、「ICTの利点を生かした素晴らしい授業だった」、「子どもたちが英語で話そうとする姿勢がとても印象的だった」など高い評価を得ました。



【事例】「特別支援」 東京都K区



読むことや書くことが不得手で支援を必要とする子どもの学習に、ICTが活用されています。

読むことが苦手な子どもたちを早期に把握し支援するために開発した指導方法のデジタル教材「多層指導モデルデジタル版MIM」を活用しています。

子どもの状況	ICTによる支援方法
読むことが苦手で、教科書を理解できない	教科書の文章を音声で聞くことで、情報収集の幅が広がる
書くことが苦手なため、解答用紙に答えを書けない	キーボードなどで入力し、テストを受けられるようになる
自分での確かな言葉を選んで気持ちを伝えることが難しい	画面上の絵や音声で、やりたいことや気持ちを伝える

共通プラットフォームに関して



コンテンツ提供事業者の立場から

- 提供コンテンツの制作が1種類で済み、コスト負担が軽減される。
- コンテンツの管理コストが軽減される。
- クラウド利用であれば学校と家庭の学習の連携が可能になる。